

札幌組報



2012年12月17日

第51号

 浄土真宗本願寺派北海道教区
 札幌組基幹運動推進委員会
 伝道局

 札幌組HP <http://www.onishi.or.jp>

ごあいさつ

札幌組組長 野口宗英

名 前 …… 野口 宗英
 生 年 月 日 …… 昭和34年1月4日
 趣 味 …… 犬の散歩
 家 族 構 成 …… 妻・長男・長女・母親
 好きな言葉 …… 成るようになる



平素より札幌組に特段のご配慮を賜り、心より御礼申し上げます。

さて今般、3月の定期組会におきまして札幌組組長に選出され、副組長に佐々木恵真氏・竹澤一深氏・高塚浄正氏・御同朋の社会をめざす運動（実践運動）組委員会副委員長に石堂了正氏の快諾をうけ新執行部をスタートいたしました。

本年4月1日より新たな宗門基本法規の施行に伴う宗務組織の改正と従来の基幹運動改め、御同朋の社会をめざす運動が始まりました。

しかし、運動内容がまったく未定であり、とまどいのなかでのスタートでありましたが、重点プロジェクトも9月14日に北海道教区での公聴会が開催され説明がありました。今後は札幌組の実践目標を設定する予定ですが組の事業はすでに進んでおり、総代会・仏教婦人会・寺族婦人会との連携等は担当組織局のおかげにより停滞することなく推進されております。これからも研修局の連研・組巡回学習会等、伝道局の組報「なごみ」発行、ホームページの充実等各局により各事業が予定されております。

これから札幌組も御同朋の社会をめざす運動を推進していくなかで、組織の見直し等の課題もあるかと思いますが、今後も皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、前執行部の皆様の5年間のご苦勞に敬意を表しご挨拶といたします。

札幌組副組長 佐々木 恵眞

名 前 …… 佐々木 恵眞
 生年月日 …… 昭和27年7月5日
 趣 味 …… 家庭菜園
 特 技 …… わがまま
 家族構成 …… 妻・長男(学生)27歳・二男(学生)25歳
 好きな言葉 …… 身の丈・吾れ唯足るを知る



恥ずかしながら二度目の副組長そして、会計に指名していただきました。現執行部で最年長であり、一番最初に息切れするのではないかと危惧していますが、持ち前の「気の弱さ」で乗り切りたいと存じます。

本年4月1日から、新たな組織制度のもと宗門の新体制がスタートしました。まだ私自身戸惑いもありますが、組長を中心として力を合わせ、全員「和」をもって任期満了まで精進努力して参りたいと存じます。組内の皆様のご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

札幌組副組長 竹澤 一深

名 前 …… 竹澤 一深
 生年月日 …… 昭和29年7月16日
 趣味・特技 …… 籠玉・どこでも寝る事が出来る
 家族構成 …… 坊守・寺族5人・孫1人
 好きな言葉 …… 「ご縁」



札幌組副組長 高塚 浄正



名 前 …… 高塚 浄正

生年月日 …… 昭和38年2月4日 49歳

趣 味 …… 読書、音楽鑑賞、ステーションナリーグッズ集め、字を書くこと（日記など）、焼酎を飲むこと、寺関係のオリジナルグッズを考え、製作すること

特 技 …… 早起き（5時）、事務仕事

家族構成 …… 妻、長女（高1）、長男（小6）、母

好きな言葉 …… 「小さな努力で大きな効果を得ようとするのではなく、たとえ小さな効果であっても、そのために大きな努力をすることを惜しんではいけない」
（薬師寺管主 故高田好胤氏）

この度、再度執行部でお手伝いさせていただくことになりました。今回の任期を全うすれば11年執行部に関わることとなります。よろしく申し上げます。でも今回を最後にさせて下さい。

御同朋の社会をめざす運動（実践運動）
札幌組副委員長

石堂 了正



名 前 …… 石堂 了正

生年月日 …… 昭和38年1月1日

趣味・特技 …… 雅楽・聲明・一般的には季節を問わずアウトドア
（近年は「山」より「海」ですかね）

家族構成 …… 母・妻・長男（高校3年）・長女（中学2年）とウサギ

好きな言葉 …… 「相続」「あるがままに」



札幌組組織局局长 上山 知現

名 前 …… 上山 知現

生年月日 …… 昭和25年11月24日

組織局は総代会・各種教化団体などを担当します。たとえば、各お寺には総代さんが必ずおられます。現状総代会の研修会などには半数の寺院しか集まりません。

せっかくある組織を組内の方々と大切に少しでも活性化できればと思っています。皆さんの協力を得ながら野口組長のもとお手伝いさせていただきます。宜しくお願いいたします。
担当 総代会 婦人会連盟 壮年会 青少年 等です。



札幌組研修局局长 久朗津 泰秀

名 前 …… 久朗津 泰秀

生年月日 …… 昭和46年1月26日

趣味・特技 …… 読書と書籍の買い溜め

家族構成 …… 連れ合い、息子、父、母、姉

好きな言葉 …… 南無阿弥陀仏

僧俗共に学び合う研修会を開催したいと存じますので、皆さまの忌憚のないご意見を戴きながら4年間がんばりたいと存じます。
どうぞご理解とご協力を賜りますようお願い致します。



札幌組伝道局局长 横湯 誓之

名 前 …… 横湯 誓之

生年月日 …… 昭和46年2月15日

趣味・特技 …… 野球・音楽・映画鑑賞・娘とお出かけ

家族構成 …… 妻・娘(1歳6ヶ月)・母

好きな言葉 …… one for all all for one

重要なポストをいただきました。
目で感じる、心で感じるものを作って行きたいと考えておりますので、忌憚のないご意見やアドバイスをドシドシ頂戴したいと思います。
どうぞよろしくお願い致します。



組織局活動報告

寺婦関係

5月28日 札幌ドームホテル

平成24年度 第1回研修会 「より輝く坊守をめざして」

講師 一般社団法人日本パーソナルコーディネイター 南部 祐子様 27名参加

11月28日 札幌ドームホテル

第2回研修会 「勧学の役割と仕事について」

講師 浄土真宗本願寺派勧学 上川南組 正光寺住職 北塔 光昇様 28名参加

札幌組仏教婦人会連盟

7月9日 本願寺札幌別院

札幌組仏教婦人会連盟総会・研修会 「新たな始まり」・・・ご消息をうけて

講師 胆振組 皇恩寺住職 増山 顕祐様 参加185名

予定 12月10日・11日 定山溪ビューホテル

札幌組仏教婦人会連盟一泊研修会 「これからの仏教婦人会活動～み法の母として～」

講師 空知南組 誓報寺住職 天野 廣海様 122名参加予定

総代会関係

7月10日・11日 センチュリーロイヤルホテル

教区Aブロック総代研修会 「生きてゆく 救われてゆく」

講師 東京教区千葉組光明寺住職 宗会議員 石上 智康様 143名参加

○壮年会研修会 年度内開催予定

○青少年関係 検討中

※ 9月に第1連区総代研修会がありました。札幌組から10名ほど参加があったようですが、資料が残っておらず、詳細をお伝えできません。申し訳ありません。

北海道教区門徒総代会 平成24年度 Aブロック総代研修会

平成24年7月10日11日の2日間にわたり、上記総代研修会が札幌市中央区センチュリーロイヤルホテルで開催されました。函館組から札幌組迄の5組から約150名の総代・住職・門徒が出席され、真願寺からは住職・坊守はじめ総代・婦人会壮年会の各会長など、17名で参加しました。勤行に引き続き北海道教区の寺井教務所長のご挨拶と幹事組である札幌組を代表し、札幌組総代会会長（真願寺責任役員）高間専造氏より歓迎のご挨拶があり、会が始まりました。



まずは北海道教区門徒総代会の平成23年度事業報告、並びに平成24年度事業計画の説明及び報告が事務局よりありました。



24年度事業計画

1. 目標 御同朋の社会をめざして
2. スローガン ともにいのちかがやく世界へ
3. 自ずから聞法に励む総代になろう

すべての宗門の門徒は『御同朋の社会をめざす運動』を主体的に取り組み、特に門徒総代はその先頭に立たねばなりません。自己や社会の課題について、他の総代と共有し、主体的にその課題に向けて取り組む必要があります。

研 修 会



講師の石上智康師は千葉県君津市光明寺の住職で、本願寺派宗会議員・宗会議長を歴任され、元全日本仏教会理事長でもられました。著書に『この世とあの世をむすぶ言葉』『今のあなたのままでいい』『いきていく 救われていく』があります。この度のテーマは『生きてゆく 救われてゆく～「親鸞聖人750回大遠忌法要御満座を機縁として新たな始まりを期する消息」をいただいて』と言うことで、2日間のご法話をいただきました。

石上先生のご法話は、まず1月16日親鸞聖人750回大遠忌法要御満座を機縁として「新たな始まり」を期する消息がご門主様より発布されました。この御消息について、先生はご門主の云わんとされているそのお心を、またその言葉に含まれている深い意味合いを私達に解りやすく、お話しして下さいました。

テーマの『いきていく 救われていく』は先生が今年の8月31日出版された『いきていく 救われていく』をもとに、無常とは?について拝聴致しました。

（記 真願寺総代 木村弘さん 真願寺寺報 「響」より抜粋）

研修局活動報告と今後の予定

活動報告

今年度の研修局の活動としては、「第15期連研修了者中央教修」、「組巡回学習会 僧侶研修及び門信徒研修」、「門信徒履修者研修会」、「僧侶研修会」、「新年会」、「第16期連研」を計画しておりました。

この度、「第15期中央教修」を受講された門信徒（9月～12月まで）は6名です。受講された方の感想を聞くと「とても有意義な研修であった。友人にも弘めたい」というお言葉を戴きました。次々頁にて受講者の感想がありますのでご一読くださいませ。

「組巡回学習会」は、11月27日午後2時から北海道教区教化センター1階ホールに於いて開催致しました。当日は、全道各地において暴風による被害が遭った日であり、2名の内の担当講師である林川さん（斜里町在住）は飛行機が千歳に入れず別のルートを使って来幌されました。そこで急遽、脇谷さん（連研中央講師）に問題提起と法話を代理でお願いすることとなりました。そのような天候や状況であったため参加者は26名でした。（46カ寺中16カ寺の参加）

研修スタイルは、はじめに講師の脇谷さんから問題提起をして戴きました。内容は、別院の落書き、多数の被害者へ送られた差別ハガキなどのスライドを通して差別の現実と向き合う時間を共有しました。その後、教区対応委員による提案で福島第一原発事故以降に放射能における無知と風評から発生した道内避難者への差別事件を、参加者（この度はスタッフが演出）から福島の避難者、傍観者、加差別行為者のそれぞれの立場を追体験するロールプレイを試みました。そして4つのグループに分かれて話し合いが行われました。

話し合いでは、「17年の差別事件の感想」、「福島避難者の差別事件の感想」、「どうすれば差別はなくなりますか」の3点について話し合いが持たれました。そして60分の話し合い終了後に全体会と質疑が行われ、様々な意見が繰り広げられました。

引き続き、講師の脇谷さんと林川さんにまとめの法話を拝聴して全日程を終了することが出来ました。この度は、差別の現実をスライドとロールプレイを通して、被害者や傍観者の立場を考え、沈黙に陥っている被害者に対し「気にするな」と何気ないことばや態度が、どれほど被害者を傷つけていたのかを共有する時間が持てたことがとても良かったと思います。そして、教区対応委員の企画とご尽力に頭が下がりました。

今後の課題としては、参加者を増やす工夫を考えながら17年の差別事件及び差別問題を考える企画を模索していきたいと存じます。そして、様々な意見交換をする場を沢山持つことがとても必要であることを再認識した巡回学習会でありました。

「第16期連研」に関しては現段階では12名の申込状況なので、各寺院のみなさまには、引き続き門信徒のみなさまへのお声掛けのご協力をお願い致します。

結びに研修局の今後の予定を紹介致します。後日、ご案内致しますので、みなさまにおかれましてはご予定に入れて戴きますようお願い致します。

今後の予定

① 僧侶研修会及び新年会

日 時 2013年2月6日(水) 午後4時～(僧侶研修会)・午後6時30分～(新年会)
 場 所 札幌市内ホテル予定
 講 師 札幌琴似工業高校教諭 川原茂雄 先生
 テーマ 原発出前授業「原発と放射能のお話ー子どもたちを放射能から守りたいー」
 対 象 僧侶 寺族

② 連研履修者・門徒推進員研修会

日 時 2013年2月22日(金) 午後1時～
 場 所 北海道教区教化センター
 講 師 脇谷 暁融先生
 テーマ 「世のなか安穏なれ 仏法弘まれ」
 対 象 門徒推進委員 連研履修者 離郷門徒 僧侶

③ 組巡回学習会 僧侶・門信徒合同研修併修

日にち 2013年3月10日(日)
 場 所 北海道教区教化センター
 講 師 同和教育センター理事 森本覚修 先生
 テーマ 「社会生活における仏教」
 対 象 門信徒 僧侶 寺族

多くのみなさまのご参加をお待ちし致しておりますので、各寺院のみなさまにはご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

門徒推進員中央教修を受講して

眞願寺門徒 宮崎英治さん

この度、2012（平成24）年9月7日から10日までの4日間に亘り、京都市本願寺聞法会館にて、第220回中央教修を受けてきました。

これまでに、全国では多くの方々が門徒推進員養成連続研修会「連研」を修了されており、その方々が対象となっております。今回、南は九州の鹿児島を始め、全国各地から52名の参加となりました。教修は長時間に及ぶことから、体調を整える為に、関西空港経由とし、疲れ、時間的な余裕をみて前日には宿泊を取りました。受付は、北海道から、教区ごとに呼ばれ、心ざしと緊張感「み教えが、人生の真のよりどころであることにめざめ、より多くの人々の悩みに応える活動の出発」を持ち、北海道教区では私一人の参加でありました。

開会式の後、色々と説明を受け、記念撮影、各班別（私は3班）に分かれ、それぞれの役割分担をし、日程表にしたがい、特に、2日目、3日目、最後の日まで、朝5時には起床し、6時には阿弥陀堂、御影堂にて、晨朝参拝、朝食後、班ごとの語り合う話し合法座、「であい」「み教えからの気づき」「御同朋の社会」「救いと歩み浄土」を中心に、あらかじめテーマについて講師の方の助言とアドバイスを頂き、その事について個々との意見交換、共に聞き、自らの問い・思いを語り、それぞれの班ごとにまとめて発表をしました。またその都度、講師の方には講評を頂き、音楽法要の講義では、宗祖讃仰作法の指導を受け、その後就寝勤行と、夜9時頃まで続く教修となりました。

特に3日目の夜、今後、門徒推進員としての活動にあたり、決意表明式が、安穩殿に於いて行われ、一人一人が阿弥陀如来の尊前にて、自分のこれからの思いを、それぞれ述べられました。私は「これまでに学び得た心を持ち、念仏者として、報恩感謝し、浄土真宗のみ教えを更に広く伝えて行きたいと思います」と決意を述べてきました。

ともに悩みを聞き、自らの問いを語りあうなかで、既に南無阿弥陀仏に願われた私であった事が知らされた4日間でもありました。「話し合法座」では、み教えそのものを学ぶだけでなく、生活や社会の様々な課題をみ教えに問い聞く姿勢を育む事により、同じ教えに生きる朋となった門信徒の姿であると感じております。定義では「親鸞聖人のみ教えに信順し、如来の本願を大地とし、その教法に生きるものの、誇りと喜びの名のりが門徒であり、教団の運動に積極的に参加する人を門徒推進員と言う」と書かれていますが、自分自身の自覚を高め、聴聞の場で同朋（とも）と知り合い、仏の道、人生の道を歩みたいと思います。今回、心の故郷、本願寺のみ仏の前で、講師を頂いたみなさん、受講されたみなさん、お手伝いのスタッフ（ご縁）に恵まれた事、そして出逢えたことを光栄に思い、この喜び、心から感謝を申し上げ報告とさせていただきます。

門徒推進員中央教修に参加して

安楽寺門徒 竹内幸子

私は札幌組連研15期（2010年9月～2011年12月迄）を終了し、2012年2月北海道教区研修を得て第221回（2012年10月5日～8日迄）門徒推進員の中央教修を住職様の後押しもあり、北海道教区札幌組安楽寺から他2名の方々と受講することになりました。出発にあたり千歳市秀法寺の宮川様に大変お世話に成りました。前日に出発し東急ホテルで一泊し、当日5日AM11:30本願寺聞法会館に移動し、受付、開会式を3Fの研修室で行ないました。

今回の受講は48名でした。すでに全国で5,000名を超える方々が門徒推進員になられているそうです。

早速、全体の記念撮影を済ませて、各班に分かれました。私達3名は2班、5班、7班に分かれ、私は全国から集まった7人の仲間と同行致しました。

福岡、山陰、東京、佐賀、熊本、岐阜の皆さん、法座① [出合い] 法座② [み教えからの気づき] 法座③ [御同朋の社会] 法座④ [救いと歩み—浄土に付いて] 3日間は、その問いに付いて、話し合い、司会と記録者を決め発表がなされました。其の後助言者による、まとめがなされました。私は中でも法座③「御同朋の社会に付いて」命の尊さにめざめる同朋一人ひとりが自覚を深め、浄土真宗のみ教えを社会に広め、実践していく活動に感銘を受けました。喜び、悲しみ、慈しみの心を持って、人々の苦悩に向きあい、ぬくもりある地域や社会に、活動を展開したいものと思っております。

最後にこの機会をお与え下さった事に感謝申し上げます。95歳の母が健康で自宅の留守を守ってくれた事も嬉しく思いました。



伝道局活動報告

伝道局は、この度皆様方のお手元に配布させていただきました組報「なごみ」51号の作製（取材を含む）・発送が今年初めての活動となります。

現在、ホームページリニューアルの準備段階であり、なんとか新年度から新しいホームページをアップしたいと考えております。

尚、ホームページ上で、毎月更新させていただいております札幌正信会作製の法語カレンダーの毎月の法話解説を、新年1月から、札幌組前組長様であります興徳寺御住職 藤田憲昭氏に御依頼し、快諾をいただいております。

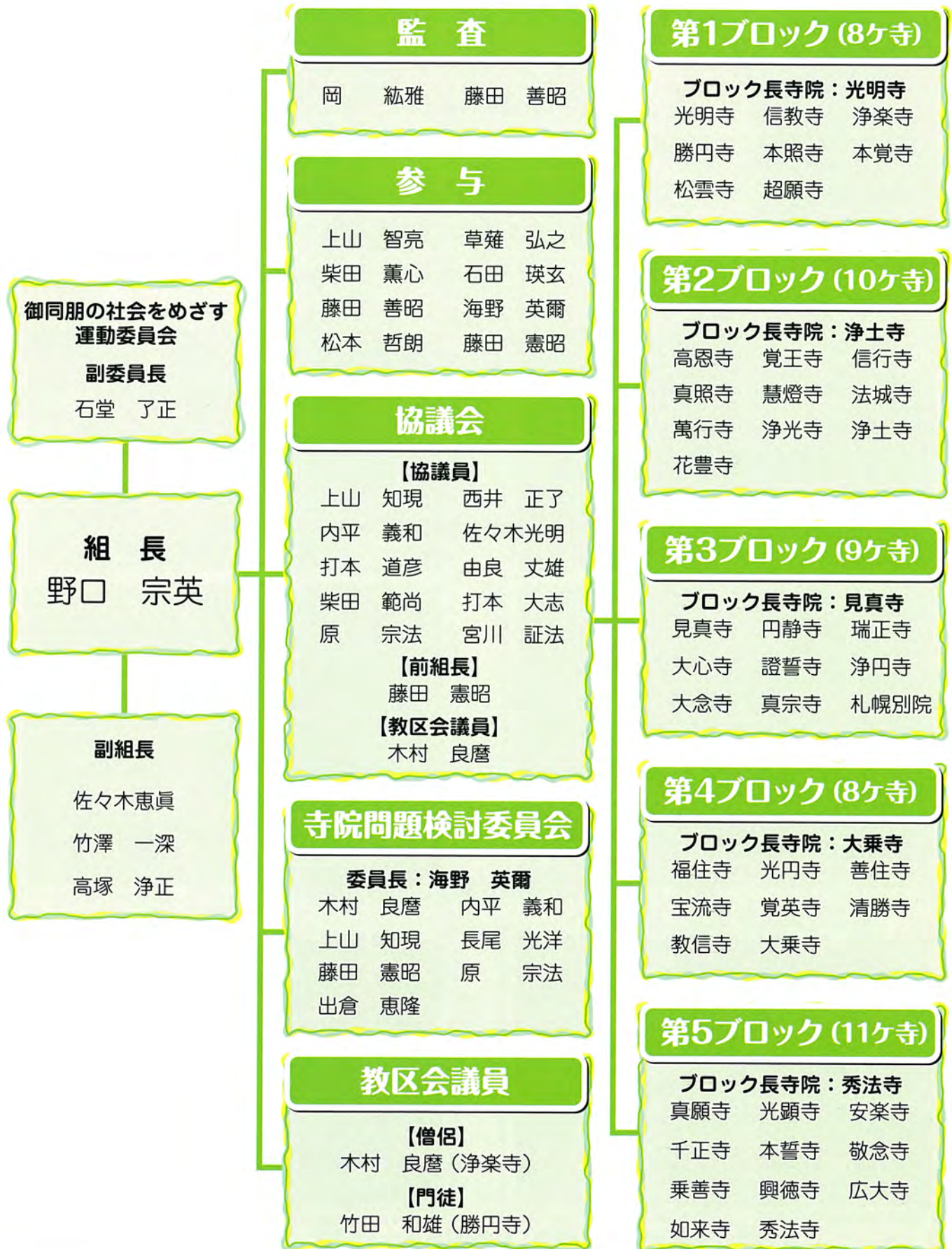
その他に教化グッズの作製や啓発グッズの作製、他組への研修等を計画しております。組内皆様方からのアドバイスやご意見等、頂戴できれば参考にさせていただきますので、お声掛け下さい。



札幌組御同朋の社会をめざす運動(実践運動)委員会組織図



札幌組役員組織図



組内寺院報告

真宗寺様 開基坊守17回忌・宗祖親鸞聖人750回大遠忌・報恩講 並びに寺号公称35周年記念慶讃法要

去る6月21日から23日の3日間の日程に渡り、手稲区、真宗寺様に於かれまして、開基坊守17回忌、宗祖親鸞聖人750回忌、報恩講、並びに寺号公称35周年記念慶讃法要が厳修されました。

23日の最終日には、午前10時より『寺号公称35周年記念慶讃法要』が厳修されました。



当日は、好天にも恵まれ、又、この法要に当たり新しく改築されました本堂では、ご法中並びに御門徒そして大勢の有縁の方々と共に住職と御門徒が一丸となり、本堂満堂の中、厳粛且つ賑々しく法要を勤められ御本尊へご報告をされました。

真宗寺様本堂伽藍



散華でたくさんの華葩が舞い、法要を飾りました



ご挨拶される真宗寺御住職様・札幌組組長 野口氏（本誓寺御住職様）

寶流寺様 本堂耐震改修・庫裡新築落成慶讃法要 親鸞聖人750回大遠忌法要

去る8月25・26日の両日、川沿 寶流寺様の本堂耐震改修・庫裡新築落成慶讃法要、親鸞聖人750回大遠忌法要が勤修されました。

25日は御法要の後に上方落語があり、門信徒の皆様方、大変喜ばれたようであります。翌日26日は、庭儀があり、かわいらしいお稚児さんが、法要に花を飾り、賑やか且つ、荘厳に御法要がお勤まりになりました。引き続き、祝賀会が盛大に開催され、いずれも慶びに包まれた温かい時間となりました。本当におめでとうございます。



寶流寺様本堂・庫裡



落成慶讃法要



前任職様・住職様と



稚児行列



親鸞聖人750回大遠忌法要



たくさんの華葩が舞いました



記念祝賀会



そとつながるホッがつたわる

～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

重点プロジェクトのポイント

<自他共に心豊かに生きることのできる社会をめざして>

門信徒、僧侶、寺族など、宗門に属するすべての人びとの活動の目的は、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」ことです。この目的で実践される活動内容を示す名称が「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）です。

<総合テーマについて>

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）は、宗門を構成する一人ひとりが参画・実践すること、また宗門内外の人びとと連携して活動していくことをめざす活動でもあります。こうした目的に対し、宗門の社会活動を多くの人びとにわかりやすく伝え、宗門内外で広く共有していただくために「総合テーマ」を掲げます。2012年からの3年間は、「そとつながる ホッがつたわる～結ぶ絆から、広がるご縁へ～」という総合テーマを設けます。

<重点プロジェクトについて>

変化の速度が著しい時代状況の中、宗門が「重点的」に取り組むべき社会的課題も変化します。変化する時代状況を踏まえ、総局が「総合テーマ」と具体的な「実践目標」とを示して、社会への具体的な貢献をめざし、年限を決めて実践されるのが「重点プロジェクト」です。

<「宗門の課題リスト」について>

総局は、「総合テーマ」に即した「宗門の課題リスト」を作成しています。「宗門の課題リスト」は、より多くの人びとにご参加いただけるよう準備したものです。活動に参画される方がたには、それぞれの地域性、特性があります。画一的に活動内容を決めるのではなく、「宗門の課題リスト」を参考にして、より多くの方がたに、それぞれの特性を活かした活動を推進していただきたいと考えています。

<まとめ>

重点プロジェクトとは、「総合テーマ」をもとに、総局が作成した「宗門の課題リスト」を参考にして、それぞれの活動主体が地域性や特性を活かした「実践目標」や「達成目標」などを設定し、その目標に向けて、3年間で区切りとし、伝道本部（宗務所）、寺務所、教区、組、寺院やさまざまな団体、そして門信徒や僧侶、寺族のすべてがかかわっていき、社会に具体的に貢献し、社会につながっていく活動のことです。

編集後記

なごみ51号を皆様のお手元にご送付させていただきました。

この度は、ご門徒さんから感想文をいただき、より身近に活動内容をお伝えできたのではないかと思います。これからもより近い目線で組報を作製して行きたいと考えておりますので、忌憚のないご意見やアドバイスなど頂戴できましたら幸いです。

上記に基幹運動に変わり新たな運動である実践運動の重点プロジェクトのポイントをおまとめいたしました。今後は組内皆様方の特段のご協力をいただきながら手を取り合って、運動を推進して行かなければならないと思います。共にごがんばりましょう!!